

＜事例3＞ C小学校

6年間をかけて系統的に取り組むキャリア教育

異世代に学び同世代と学び合う体験学習を充実し、教科や道徳の時間・特別活動との内容関連と系統性を見直し授業改善に取り組む

【学校の状況】

- 児童数約250人（11学級）
- 地域に独居老人が多いことから行われてきた福祉活動を再編し、異世代から勤労観・職業感を学ぶ学習として位置付けている。
- 少人数授業習熟度別学習の充実を図り、基礎学力の向上を目指している。
- 体験学習に保護者を巻き込み、学校教育への関心や協力関係を高めている。
- 3年生以上の異学年地区別縦割り班活動を充実し、同世代のコミュニティー力の活性化を目指している。

【キャリア教育のねらい】

- 健やかな体と心をもち、地域での交流を大切に生き生きと活動する子どもを育成する。
- 学習の目的を明確にもち、意欲的に学習するとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を育成する。
- 互いに相手のことを認め合い、にこにこ笑顔で協力し合うことのできる子どもを育成する。

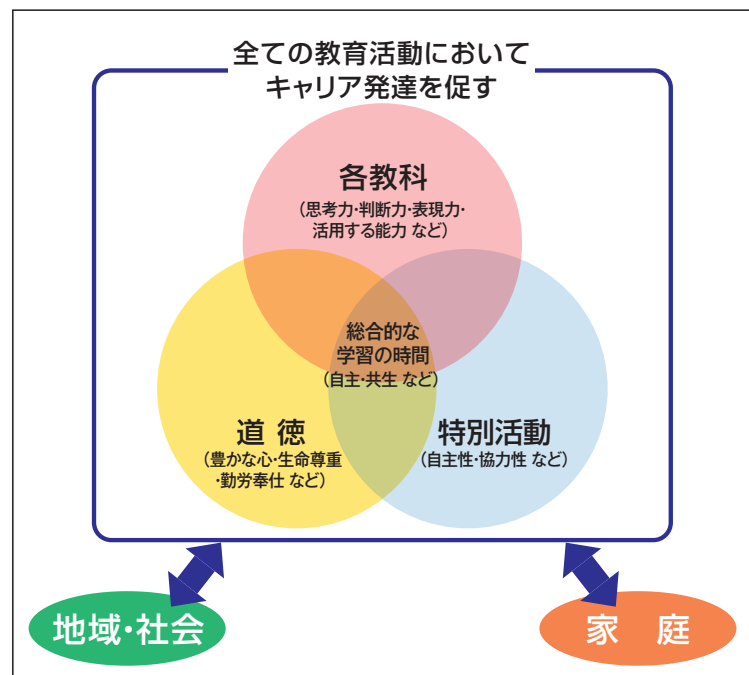


6年間で系統的に学ぶ教育課程の工夫とキャリア教育プログラムの作成

(1) 全体計画の作成までの過程

これまで研究指定などで推進してきた道徳や総合的な学習の時間、習熟度別少人数指導の充実の取組は、それぞれに重点をおいて充実していくものであった。キャリア教育を推進するに当たり、その考え方を見直してそれぞれの学びが相互関連を図りながら生きる力をはぐくむという視点から、授業のねらいや教科の目標についての教員研修に取り組み、授業研究を重ねながら全体計画を形づくっていった。

一人一人の教員が研究教科などを中心にして授業研究に取り組むことで、キャリア教育の視点に基づいた授業とは、学んだことが子どもの生活やその後に活用されることであるという共通理解が生まれていった。その結果、学年の中での横断的な関連と学年間や各教科などの間で内容的な関連を図ることができた。それに伴い、放課後や空き時間に児童理解や教材研究についての自発的な情報交換が活発に行われるようになり、教員間で学び合い授業改善につなげる雰囲気が高めることができた。



＜キャリア教育の全体計画のイメージ図＞

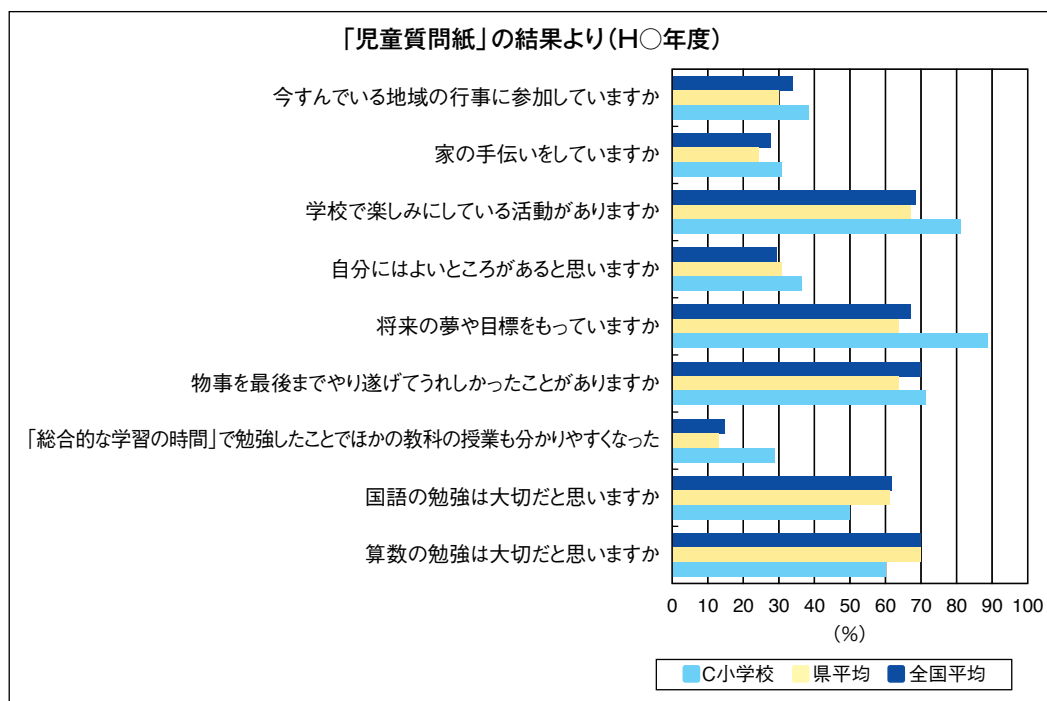
(2) 学年間の連携を図り、6年間の系統性をつくり上げる

授業研究に当たり、研究協議ではその授業の内容が各学年での学びにどのようにつながるのかを軸にして話し合うことにした。そうすることで、「何の学習で・どのような力を付けたいのか・そのための方法は何か」を考えることができ、特に総合的な学習の時間の各学年のねらいと活動内容が整理されていった。例えば低学年で学ぶ地域を教材化した生活科での学習を、素地となる学習として位置付けるなど、教育課程の再編に全員で取り組むことができた。このことは、各学年で育てたい能力を理解することにつながり、教員間の連携を深めていくという効果も生まれた。教科担任や主任の役割意識が高まることで、新しい企画が提案されるなど協力的な雰囲気の中でキャリア教育を推進していくことができるようになった。



それとともに、保護者や地域の人とも連携協力をもつ機会が増え、地域に開かれた学校の実現にもつながった。

下のグラフは、全国学力・学習状況調査の「児童質問紙」結果の一部である。キャリア教育を推進した成果として、周囲の大人と積極的にかかわろうとしたり、児童の自尊感情の高まりが見られたりするようになった。しかし反面、学習状況の結果では、基本的な知識の定着に課題があることが明確になった。これらの結果を学校評価の資料に加えて自己評価を行い、改善点を学校関係者評価委員会で表明するなど、PDCAサイクルを生かしてキャリア教育の全体計画に修正を加えた。



成果

課題

キャリア教育プログラムの系統性 (平成○年度 C小学校)

総合的な学習の時間（生活科では素地・関連学習）			教科指導	道徳特別活動	その他
キャリア学習	○○学習	○○学習			
一年	「『お手つだい名人』になろう」 ●できる喜び・役立つ自分への充実感を味わい、家族にほめてもらえる「快」の体験が勤労意欲の基礎になる。 「○○こうえんは わたしたちのたからもの」 ●自然の四季の変化を楽しみ、そこに訪れる人たちと出会い、社会や自然への気付きを大切に豊かな感性を培う。 家族に信頼をよせ、自分も役立つとする成長過程や周囲の変化に目を向けた記録をつづるポートフォリオ作成	勤労・役立つことの喜びを体感する場 勤労観の基盤を形成 豊かな感性を培う 生命尊重の心をはぐくむ 公共心をはぐくむ 支えてくれる家族への信頼 できる・役立つ喜びを実感	全学年の全教科で育成する能力 豊かな感性——自分の感覚を大切にしながら他者の感性にふれ、磨いていく。 健康な身体と身体能力を高める実践的な態度——自分の身体を主体意識をもち、自己管理能力や運動技能を高めていく。 論理的な思考力や適切な判断力——自分の考えをもち、他者に適切に伝えることができる。状況にふさわしい言動をとることができる意思決定能力を高めていく。 全ての基盤になる国語力、言語感覚を高め、表現力を育成し、国語力の向上を図る。多様な表現力やコミュニケーション能力の育成がキャリア教育の基盤になる。	自分のことができる 係活動の充実 自分の内面と向き合い、道徳的価値に基づき生き方を考えるための核となる時間 グループ活動の充実・自主性の高揚 自分の得意なことを集団で生かそうとする リーダーとしての自主性を発揮	担任や養護教諭・少数担当・生徒指導主任を中心とした生徒指導・生活指導・学習指導におけるカウンセリング
二年	「ピオトープを見直そう」 ●生命尊重。勤労体験。責任をもって生き物を育てる。 ●ピオトープ作り名人に学ぶ。 「レッツゴー！○○探検隊」野菜作り・冬の町探検・駅に行こう ●町を支えているいろいろな人たちと出会う。 ●自分の住む町への愛着を高める。 自分が暮らす町への愛着を深めていくポートフォリオ作成	生命尊重 名人との出会い 責任感 町への愛着 いろいろな名人 町に住むいろいろな働く人 公共心・社会性の向上	異学年地区別縦割り班活動で自立・責任意識を高める ●自己の役割意識を高め責任性を培うために、異学年グループで目標をたてて企画・準備・運営・実行 ●自然の中で体験を通して、五感を豊かに働かせる。 自分のことをする できることを自分からする 六年生を支え、適切に補助的な行動をする リーダーを自覚し、見通しをもって行動する	自分の内面と向き合い、道徳的価値に基づき生き方を考えるための核となる時間 グループ活動の充実・自主性の高揚 自分の得意なことを集団で生かそうとする リーダーとしての自主性を発揮	担任や養護教諭・少数担当・生徒指導主任を中心とした生徒指導・生活指導・学習指導におけるカウンセリング
三年	「わたしたちの町 西部に学ぼう」 ●○○○に関する史跡めぐり。 ●子ども時代に塩作りで浜子として従事した校区のお年寄りに仕事への誇りを語っていただく。 みんなのためになることをする気高い行為をテーマにしたポートフォリオ作成	「地域のボランティア活動に取り組もう」 ●○○○公園を守るボランティアから、自分たちの町を自分たちの手で住みよくしようとする心を学ぶ。 ●公園の美化活動に取り組む。	異学年地区別縦割り班活動で自立・責任意識を高める ●自己の役割意識を高め責任性を培うために、異学年グループで目標をたてて企画・準備・運営・実行 ●自然の中で体験を通して、五感を豊かに働かせる。 自分のことをする できることを自分からする 六年生を支え、適切に補助的な行動をする リーダーを自覚し、見通しをもって行動する	自分の内面と向き合い、道徳的価値に基づき生き方を考えるための核となる時間 グループ活動の充実・自主性の高揚 自分の得意なことを集団で生かそうとする リーダーとしての自主性を発揮	担任や養護教諭・少数担当・生徒指導主任を中心とした生徒指導・生活指導・学習指導におけるカウンセリング
四年	「家族の仕事への思いを探ろう」 ●家族の仕事への思いと支え合う家族の絆の大切さに気付き、家族の一員である自分という自覚を高める。（低学年の学習の発展となる。） ●身の回りには様々な仕事が存在することに気付く。 働く家族の姿に学び、様々な仕事の存在についてまとめたポートフォリオ作成	「地域の人たちと、ともに生きよう」 ●毎月の会食サービスで、お年寄りと交流しサービスを受ける立場、支える立場の人の気持ちや思いに学ぶ。 ●自分とは異なる立場にある人の思いを探ろうとする気持ちをもつ。 ●人に喜ばれることが自分の幸せにつながることを体験する。	異学年地区別縦割り班活動で自立・責任意識を高める ●自己の役割意識を高め責任性を培うために、異学年グループで目標をたてて企画・準備・運営・実行 ●自然の中で体験を通して、五感を豊かに働かせる。 自分のことをする できることを自分からする 六年生を支え、適切に補助的な行動をする リーダーを自覚し、見通しをもって行動する	自分の内面と向き合い、道徳的価値に基づき生き方を考えるための核となる時間 グループ活動の充実・自主性の高揚 自分の得意なことを集団で生かそうとする リーダーとしての自主性を発揮	担任や養護教諭・少数担当・生徒指導主任を中心とした生徒指導・生活指導・学習指導におけるカウンセリング
五年	「働く人の思いや考えから学ぼう」 ア 職場訪問（仕事についての取材活動） ●介護タクシー、デイケアサービスに関わる人の思いに学ぶ。 ●興味や関心のある仕事について、苦勞や喜び、どうしてその仕事を選んだのかなど疑問に思ったことをインタビューする。 イ 専門家の思いに学ぶ ●仕事を極めたプロとしての思いを語っていただき、仕事に就くためにどのようなことが大切なのかを探る。 ウ 自分の将来の夢を描く ●自分好きなことや得意なことを踏まえ、将来の夢を描いて実現に向けた現在の目標を設定する。 将来の夢を描き、それをかなえる道筋を調べ資料を集めたポートフォリオ作成	「『愛のふれあい活動』を成功させよう」 ●地域の福祉事業「愛のふれあい活動」（独り暮らしのお年寄りを年末に訪問したり、手紙を書いたりする活動）に参加し、支え合う社会のよさに気付く。	異学年地区別縦割り班活動で自立・責任意識を高める ●自己の役割意識を高め責任性を培うために、異学年グループで目標をたてて企画・準備・運営・実行 ●自然の中で体験を通して、五感を豊かに働かせる。 自分のことをする できることを自分からする 六年生を支え、適切に補助的な行動をする リーダーを自覚し、見通しをもって行動する	自分の内面と向き合い、道徳的価値に基づき生き方を考えるための核となる時間 グループ活動の充実・自主性の高揚 自分の得意なことを集団で生かそうとする リーダーとしての自主性を発揮	担任や養護教諭・少数担当・生徒指導主任を中心とした生徒指導・生活指導・学習指導におけるカウンセリング
六年	「夢に向かって 前進」 ア ジョブ・シャドウイング（年間2回） ●自分の夢をかなえるために必要な力とは何なのかを探り、身に付けるために半日間の職場訪問をする。 イ 自分の夢を語る発表会を開く ●これまでの学習を通して描いた自分の夢に向かってこれからどのようにしていくのかをまとめ、発表する。 夢に向かって目標をもち、実践して学んだことをまとめたポートフォリオ作成	「ボランティアの心を広げよう」 ●地域の福祉事業「愛のふれあい活動」（独り暮らしのお年寄りを年末に訪問したり、手紙を書いたりする活動）に参加する。福祉活動を通して、地域社会の仕組みや携わる人々の思いに学ぶ。そして、できることから取り組んでいく。	異学年地区別縦割り班活動で自立・責任意識を高める ●自己の役割意識を高め責任性を培うために、異学年グループで目標をたてて企画・準備・運営・実行 ●自然の中で体験を通して、五感を豊かに働かせる。 自分のことをする できることを自分からする 六年生を支え、適切に補助的な行動をする リーダーを自覚し、見通しをもって行動する	自分の内面と向き合い、道徳的価値に基づき生き方を考えるための核となる時間 グループ活動の充実・自主性の高揚 自分の得意なことを集団で生かそうとする リーダーとしての自主性を発揮	担任や養護教諭・少数担当・生徒指導主任を中心とした生徒指導・生活指導・学習指導におけるカウンセリング

(3) 成果

- 6年間をかけてじっくりとキャリア形成に取り組むことにより、各学年の発達の課題が明確になるとともに、一人一人の児童の実態に応じて多様なアプローチの仕方があることが分かり、様々な場面におけるキャリア教育の在り方を探ることができた。
- 保護者から学ぶ学習の場を繰り返し設定したことで、家庭で子どもの将来について話し合う習慣をつくり、親子共に家族の絆を強く実感することができた。その結果、保護者の学校に対する信頼を深めることができ、家庭との連携を強化することができた。
- 学校全体で取り組むことにより、一人一人の教員がキャリア教育について考える場をもつことができ、それぞれが自分の分掌を中心にしてキャリア教育を推進することが可能になった。その結果、学校組織の活性化を図ることができた。
- 現在の自分の目標を考える場を保障することで、児童の学ぶ目的意識を明確化することができた。それは学習の動機付けになり、学習意欲の向上につながった。
- キャリア教育の推進を通して職員間の共通理解を図り、PDCAサイクルへの意識が高まった。全国学力・学習状況調査結果や学校評価の分析においても有用であった。

